

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
病診連携バス	<p>①地域がん診療連携拠点病院1病院、がん診療連携病院1病院、がん診療推進病院1病院である。バスの運用実績は少ないため、活用方法の検討が必要</p> <p>②手術可能ながんが病院によって異なり、放射線治療ができる医療機関も限られている。一方高度な検査機器を導入している病院もあるため、それぞれが持つ機能を活かした連携体制の構築が必要である。また、専門治療の場合は京都市内等、管外の病院で対応することもある。</p>	<p>①クリティカルパスの活用など、地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携病院、がん診療推進病院や専門診療医療機関と診療所等との連携体制を推進し、一層の圏域内の医療連携システムを構築</p> <p>②圏域内で手術等困難な患者については、他圏域に紹介するとともに、放射線治療等、他圏域との連携を推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 がん地域連携バス(肺がん、肝がん、乳がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん)の活用の実績拡大(H29年度3件、H30年度1件算定実績) 【舞鶴医療センター】 京都府がん診療連携病院として、京都府北部のがん医療の推進、バスの活用推進 【舞鶴共済病院】 がん診療推進病院が認可されれば、計画策定病院として、活用していきたい 【舞鶴赤十字病院】 がん地域連携バスへの参加継続(胃癌・大腸癌・乳のみ) 【綾部市立病院】 がん地域連携バスに参加 【京都ルネス病院】 以前よりPET機器導入。 PET受検者に対し、一部無料送迎の実施</p> <p>【市立福知山市民病院】 我が国に多いがんについては手術、放射線療法、化学療法の集学的治療を実施、他医療圏からも受入 リニアック機器の更新に伴い、放射線治療センターを平成31年1月から稼動 がん化学療法看護認定看護師を1名配置、従来から配置しているがん放射線療法看護認定看護師と合わせ、特定看護師2名を配置 【舞鶴医療センター】 放射線療法(リニアック)提供施設として、がん放射線治療を提供 【舞鶴共済病院】 舞鶴市内の口腔、咽頭、消化器、乳房、尿路、生殖器の領域がんの外科的治療の役割を担うが、舞鶴医療センターと皮膚、脳腫瘍の領域の外科的治療及び全領域の緩和ケア、放射線治療の連携 血液がん領域の高度治療は、福知山市民病院へ紹介 呼吸器がん領域の外科的治療は、綾部市立病院へ紹介 【舞鶴赤十字病院】 患者の状況によって放射線治療は舞鶴医療センターへ紹介、当院で手術できないケースは専門医師のいる医療機関へ紹介 【綾部市立病院】 放射線治療については市立福知山市民病院と連携</p>	<p>【綾部市立病院】 施設基準の届け出は行っているが、使用の実績がないため、院内に広報を実施</p>
緩和ケア在宅診療	<p>③訪問看護ステーションが少ない。(⑮17→⑳19)</p> <p>④緩和医療を実施している診療所は一部である。</p> <p>⑤緩和ケアに関わる認定看護師・認定薬剤師が不足している。</p>	<p>③～⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護等に関わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、ヘルパー等全てを対象とした研修会、情報交換会の実施 ・緩和ケアに対する医療体制の充実 ・がん患者の就労支援について、相談できる体制の構築を推進 	<p>【市立福知山市民病院】 訪問看護ステーションおおえの機能拡充 【看護協会】 e-ラーニングを活用した訪問看護ステーション研修開催</p> <p>【市立福知山市民病院】 診療所に勤務する医師・メディカルスタッフを対象に、緩和ケア研修会を継続して開催 【舞鶴医療センター】 平成30年4月から京都府北部では初となる緩和ケア病棟(15床)を開設 【舞鶴共済病院】 がん診療、緩和ケアにかかる研修会、市民講座等の開催・参加 舞鶴医療センターと緩和ケアの連携 【舞鶴赤十字病院】 緩和ケアチームによる入院患者への介入 【綾部市立病院】 がんサロンの開催(平成30年度は年間8回実施予定)、がん性疼痛看護認定看護師による訪問看護同行訪問の継続(平成30年度は現在まで実績0件)、平成28年度からがんリハビリテーションの実施 【看護協会】 緩和ケア認定看護師(3名)・がん性疼痛看護認定看護師(4名、うち1名は特定行為研修修了者) 【看護協会】【綾部市立病院】 認定看護師が、地域がん診療拠点病院、地域がん診療連携病院の研修プログラム(医師・看護師・メディカルスタッフ対象)に講師として参画</p> <p>【市立福知山市民病院】 緩和ケア認定看護師を配置 緩和ケア外来、緩和ケアチームでの回診や症例検討を実施 緩和ケアセンター長を配置 【舞鶴共済病院】 がん性疼痛看護認定看護師の訪問 【綾部市立病院】 緩和ケアチームの活動 【福知山市】 医師会主催の研修会に、多くの介護事業所や行政等も参加 【綾部市】 在宅医療介護連携推進事業に取り組み、在宅医療・介護にかかわる専門職を対象とした研修会、情報交換会を実施</p>	<p>【市立福知山市民病院】 緩和ケア病棟新設に向けた調査研究の実施 【綾部市立病院】 緩和ケアチームの活動回数の増加を目指す 【京都ルネス病院】 平成31年4月から第1・3(日)PM がんサロン「たおるぼうしの会」を開設</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
緩和ケア 在宅診療	⑥緩和ケアチーム(医師、看護師、薬剤師、理学療法士等)による在宅医療体制の整備が求められる。	⑥個々の患者の必要情報を、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・介護士等関係する者が共有し、連携して在宅療養者を支援	<p>【市立福知山市民病院】 在宅ケアチームの組織を拡充して、診療所では対応困難と思われる事例について訪問診療を実施し、在宅看取りにも対応</p> <p>【舞鶴共済病院】 緩和ケア外来の実施 緩和ケアチームの活動</p> <p>【舞鶴赤十字病院】 院内での緩和ケアチームの活動、院外への研修会の参加や他施設の緩和ケアチームとの交流</p> <p>【福知山市】 平成29年度、今後の医療・介護等の方向性を示す「ふくちやま医療・介護・福祉総合ビジョン」を策定 平成30年度、4人の医師と介護事業所等が参加して京あんしんネットによるモデル事業を実施</p>	<p>【市立福知山市民病院】 在宅ケアチーム、在宅看取りの拡充</p> <p>【福知山市】 平成31年度以降、モデル事業の成果や課題を踏まえて、より多くの患者に京あんしんネットの成果がいきわたるように普及促進</p>
予防啓発	⑦がん検診受診率向上のための受診勧奨を行っているが、全体的に検診受診率が低く、医療機関受診による発見が多い。	⑦健康教室等を通じ生活習慣病防止のためのPR、がんの市民向け講習(研修)、禁煙外来、禁煙セミナー等の実施を継続するとともに、受診しやすい体制づくりなどにより、早期発見に向けての検診受診率向上のための対策を推進	<p>【市立福知山市民病院】 人間ドック・市民検診において、がん検診を積極的に実施、禁煙外来の継続実施</p> <p>【舞鶴医療センター】 医師向けの緩和ケア研修会及び地域に向けた公開講座等の教育研修活動を推進</p> <p>【舞鶴共済病院】 胃がん・大腸がんの2次精密検診、子宮がん・前立腺がん検診の実施</p> <p>【舞鶴赤十字病院】 がん検診受診率向上を図るため協力医療機関として登録、積極的に受入れを実施 禁煙外来の実施、禁煙の啓発</p> <p>【綾部市立病院】 市民公開講座の開催、認定看護師による出前講座開催、京都府による生命のがん教育プロジェクトに医師を継続派遣 日本禁煙学会専門指導看護師による中学校での防煙教育のための出前講演の実施</p> <p>【京都ルネス病院】 乳がん・子宮癌検診については予約なしでも受検出来る体制を確保</p> <p>【京都協立病院】 大腸がん検診の推進</p> <p>【福知山市】 食生活改善や卒煙のすすめなどの生活習慣の改善の啓発、がん検診の受診促進</p> <p>乳がん検診・子宮がん検診は節目年齢の受診者に対して無料クーポンの郵送 胃ABC検診対象者である30.35.40.45歳に個別受診勧奨を実施(昨年度よりも受診者が増加) 健診受診勧奨の取組として、京都府と共同で労働基準監督署主体の健診や大型スーパーなどで啓発活動を実施 府が小中学校や高校で実施されている「生命のがん教育推進プロジェクト」に出向き、がん検診のお知らせなどの実施</p> <p>【舞鶴市】 受診可能な検診が一目でわかる「けんしんパスポート」を発行し、40歳以上の市民全員に個別通知を行うほか、広報紙、メール配信、FM放送など多様なメディアを利用しがん検診の受診勧奨を実施</p> <p>【綾部市】 休日総合がん検診の実施 訪問や郵送等による受診勧奨を実施</p> <p>【看護協会】 日本禁煙学会認定指導看護師・同専門指導看護師が中学校で防煙教育のための出前講座を実施 ・地域のイベントに参画し、パンフレットの配布、健康相談を行い、検診への呼びかけの実施</p> <p>【舞鶴薬剤師会】 舞鶴市よりの依頼を受けて6月、8月及び10月に舞鶴薬剤師会に所属する市内38薬局において、舞鶴市作成のがん検診受診勧奨チラシを用いたがん検診の受診勧奨の実施(舞鶴市からはほとんどの健診において前年度を大きく上回る受診者数であった旨の報告あり)</p> <p>【京都府】 がん予防出前講座、啓発活動</p>	<p>【市立福知山市民病院】 がん患者家族会と連携して市民公開講座を開催する(予定) →がん検診の積極的な実施、禁煙外来の継続</p> <p>【舞鶴市】 検診案内の個別通知、広報紙等での受診勧奨のほか、薬局や健康づくり応援企業・団体等を「けんしんアンバサダー」として任命し、口コミによるがん検診の受診勧奨を推進</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
全体	①中丹地域のどこに住んでいても同じ治療が受けられることが必要である。	①圏域内のどこにいても、緊急時、適切な時間内に経静脈血栓溶解療法、経皮的脳血栓回収術の可否の判断や手術が可能な医療機関に到達できる体制づくりを推進するため、脳神経外科医、神経内科医の継続的な確保が必要	【舞鶴医療センター】 京都府北部で唯一、脳卒中ケアユニット(SCU)を整備するなど24時間体制で脳卒中の急性期医療を提供しており、超急性期血栓溶解療法(t-PA)等を実施 【舞鶴共済病院】 舞鶴医療センターと連携	
病院体制 病診連携	②舞鶴医療センターでは、平成28年度に脳卒中ケアユニット(SCU)6床を更新している。		【舞鶴共済病院】 地域包括ケア病棟(35床)の運用	
	③舞鶴医療センターと市立福知山市民病院は、脳卒中地域連携クリティカルパスの計画管理病院としてパスの運用を行っている。	②③クリティカルパスの運用による病病、病診連携の推進	【市立福知山市民病院】 【舞鶴医療センター】 脳卒中地域連携クリティカルパスの計画管理病院としてパスを運用 【舞鶴赤十字病院】 【京都ルネス病院】 【綾部市立病院】 パス地域連携病院として参画	
	④北部地域では脳神経外科医、神経内科医が不足している。		【市立福知山市民病院】 脳神経外科医2名体制・神経内科医1名体制(継続) 脳神経外科専門医・神経内科医が遠隔画像を介して24時間対応(継続)	
	⑤中丹圏域では、経静脈血栓溶解療法が可能な医療機関は市立福知山市民病院、舞鶴医療センターのみであり、発生場所によっては、適切に施術を行うことができる時間内の到達が不可能である。	④⑤遠隔画像診断や相談・助言など専門医以外が診断・治療する際の支援体制整備の推進	【市立福知山市民病院】 経皮的脳血栓回収術を実施(継続)	
	⑥療養病床が少ない状況である中、舞鶴赤十字病院、市立福知山市民病院、京都ルネス病院、京都協立病院の回復期リハビリテーション病棟や各病院での地域包括ケア病床の開設、運用がされているが、療養期の受入体制は不足している。	⑥維持期等に起こる身体機能の低下を防ぐため、介護職員等関係者対象の研修などを一層充実し、リハビリテーション知識・技術向上の支援	【市立福知山市民病院】 大江分院(療養病床)との連携(継続) 【舞鶴医療センター】 地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築(回復期病棟(地域包括ケア病棟)の機能) 【綾部市立病院】 地域包括ケア病棟(50床)における在宅復帰に向けたリハビリ強化	
	⑦病院で充実した急性期・回復期リハビリテーションを受けた後、維持・生活期まで継続した総合的なリハビリテーションの提供を受け、在宅においても、患者個々に合わせた再発予防を行うことが必要である。	⑦急性期、回復期、維持期を通じた口腔機能、摂食嚥下機能の維持・向上	【市立福知山市民病院】 丹波歯科医師会と連携をして口腔ケアを充実 当院のNST(栄養サポートチーム)により摂食嚥下機能の維持・向上 【看護協会】 摂食・嚥下障害看護認定看護師は3名(各市に1名) 病院・施設・地域の公民館などでの講演会に講師として参画、対象は看護職だけでなく介護職や地域住民などに拡大	
	⑧在宅療養を進める上で、開業医の高齢化が進み、在宅診療の受け皿が不足している。		【市立福知山市民病院】 訪問リハビリテーション、在宅ケアチームによる訪問診療の実施 【舞鶴医療センター】 研修会・セミナー及び地域に向けた公開講座等の教育研修活動の推進 【京都協立病院】 ふくちやま協立診療所ではリハビリを中心としたデイサービスの実施 限定的ではあるが訪問リハの再開	
	⑨回復期や在宅療養において、専門医や看護師等の人材が不足しており、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、ケアマネジャー、ヘルパー等在宅療養関係者間の連携が必要である。	⑧～⑫ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、ケアマネジャー、ヘルパー等在宅医療関係者間の連携を推進	【市立福知山市民病院】 退院前面談やサービス担当者会議の開催により在宅療養関係者間の連携を充実	
		北部リハビリテーション支援拠点を整備するとともに、住み慣れた地域で、それぞれの状態に応じた適切なリハビリが受けられるよう北部地域のリハビリ環境を充実強化	【舞鶴赤十字病院】 在宅療養を進めるため、神経内科医(開業医)との連携の実施、必要時、往診・訪問看護ステーションによる在宅療養の支援の実施 歯科医師会と連携し、必要な方には入院中の往診の調整を実施 在宅復帰に向け入院中に、多職種で連携し、院内・院外との情報共有を実施 【京都ルネス病院】 入院時に退院調整会議、退院前訪問を実施、各関係者との連携 【綾部市】 在宅医療介護連携推進事業に取り組み、在宅医療・介護専門職の連携体制を 【市立福知山市民病院】 看護職、介護職のためのリハビリテーションステップアップ研修会の継続 【舞鶴赤十字病院】 高次脳機能障害専門外来を開設(H30年9月20日)北部リハビリテーション支援センター(高次脳機能障害支援コーディネーター)と連携し診断・評価を実施	
	⑩市立福知山市民病院では、脳神経外科医を増員し、平成26年度から血栓溶解療法治療(t-PA)、平成27年度から経皮的脳血栓回収術を開始			
	⑪京都ルネス病院では、平成26年度から綾部ルネス病院の脳神経外科医と連携し救急対応を行っている。			
	⑫平成23年4月から、市立福知山市民病院と舞鶴赤十字病院を京都府の地域リハビリテーション支援センターに指定し、リハビリテーションについての相談や人材育成のための研修などを実施するとともに、市立福知山市民病院、舞鶴赤十字病院は訪問リハビリテーションを実施している。			

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
予防啓発	⑬各市を中心に特定健診や健康教室を実施し、生活習慣病の予防に努めている。	⑬疾病への理解と予防のため特定健診の受診促進や健康教室等の実施による予防対策を一層促進	<p>【市立福知山市民病院】 特定健診の実施 【舞鶴赤十字病院】 舞鶴市の特定健診を積極的受入 【綾部市立病院】 年1回市民公開講座の開催 【各病院】 脳ドックの実施 【福知山市】 健診受診者の拡大のため、あらゆる機会に広報活動を実施 『健康活動ポイント事業』を活用した健診受診勧奨の実施 個別支援を重視した『特定保健指導』の実施、『健康教室』による生活習慣病予防啓発の実施 国保新規年度40歳、節目の50歳の人に対し特定健診が無料で受けられる無料問診票を特定健診受診券と同封で送付 【舞鶴市】 受診可能な検診が一目でわかる「けんしんパスポート」を発行し、40歳以上に個別通知 広報紙、メール配信、FM放送など多様なメディアを利用し受診勧奨を実施、特定健康診査の未受診者に別途受診勧奨を実施 【綾部市】 特定健診、健康教室等の実施</p>	<p>【舞鶴市】 検診案内の個別通知、広報紙等での受診勧奨のほか、薬局や健康づくり応援企業・団体等を「けんしんアンバサダー」として任命し、口コミによるがん検診の受診勧奨を推進、特定健康診査の未受診者には、AIとソーシャルマーケティング技術を活用した受診勧奨を実施</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
診療体制 病診連携	<p>①急性期医療に対応している病院は各市にあるが、そのうち外科的対応ができるのは舞鶴共済病院である。</p> <p>②各病院で外科的対応が必要な場合において、舞鶴共済病院との連携が進んできている。</p> <p>③舞鶴共済病院においては、24時間CCU(冠動脈疾患集中治療室)体制が整えられている。</p> <p>④緊急性の高い急性心筋梗塞について、舞鶴共済病院までのアクセス時間を考慮した上での対応が必要</p>	<p>①急性期対応から再発予防まで、病診間で診療情報や治療計画を共有できる連携体制の推進</p> <p>②～④ 急性期において、内科的治療は舞鶴共済病院、綾部市立病院、市立福知山市民病院で行われており、外科的対応が必要な場合においては舞鶴共済病院との連携を推進するとともに、他医療圏域の医療機関と連携</p>	<p>【京都ルネス病院】 平成29年11月からCAG(心臓カテーテル検査)、PCI(経皮的冠動脈形成術)の開始 平成30年12月からカテーテルアブレーション治療の開始 【舞鶴共済病院】 循環器センター(循環器内科、心臓血管外科)が24時間体制で治療 【綾部市立病院】 休日も含め、24時間体制で治療</p> <p>【市立福知山市民病院】 外科的治療が必要な患者に対しては舞鶴共済病院等と連携をとって対応 病院到着時よりPCIまでの過程(Door to Baloon)を短縮 【舞鶴医療センター】 舞鶴共済病院との連携に努め、併せて、在宅診療施設、訪問看護ステーション等との連携を強化し、積極的な患者の受け入れ 【舞鶴赤十字病院】 舞鶴共済病院との連携(紹介・逆紹介)</p> <p>【綾部市立病院】 内科的治療(PCI:経皮的冠動脈形成術)の継続、外科的治療は舞鶴共済病院と連携</p>	<p>【京都ルネス病院】 心臓開胸手術実施に向け準備中(平成31年8月頃 心臓血管外科2名体制(予定))</p>
リハ	<p>⑤心臓リハを実施しているのは、市立福知山市民病院、舞鶴共済病院である。</p>	<p>⑤再発の予防、社会復帰や在宅復帰のための心臓リハビリテーションの充実(心臓リハビリテーションができるスタッフの増加に向けた研修の充実)</p>	<p>【市立福知山市民病院】 心臓リハビリテーションの実施、心臓リハビリテーション指導士の育成 【舞鶴共済病院】 心臓リハビリテーションの実施 【京都ルネス病院】 心臓リハビリテーション実施に向け、チームを結成し立ち上げ準備中</p>	<p>【京都ルネス病院】 心臓リハビリテーション立ち上げ(夏頃予定)</p>
予防啓発	<p>⑥健診受診の勧奨や生活習慣病教室などの実施により予防啓発を実施しているものの、十分に効果が上がっていない。</p>	<p>⑥かかりつけ医において、二次予防・重症患者の早期発見のための対策を推進</p> <p>⑥かかりつけ医への研修会の実施</p> <p>⑥健康教室等を開催することにより予防の大切さを普及啓発するとともに、早期発見のために健診受診率を向上</p>	<p>【市立福知山市民病院】 二次健診を実施 【舞鶴共済病院】 心臓ドックの実施 【綾部市立病院】 年1回市民公開講座の開催 【京都ルネス病院】 平成30年7月～12月 心不全勉強会の実施(近隣の施設関係者より多くの参加あり)</p> <p>【市立福知山市民病院】 市民が自由に参加できる心リハ教室を月1回開催 人間ドックにおいて循環器検査オプションを実施(継続) 【舞鶴赤十字病院】 人間ドック健診者への生活習慣病予防の指導 【福知山市】 健診受診者の拡大のため、あらゆる機会に広報活動を実施 『健康活動ポイント事業』を活用した健診受診勧奨の実施 個別支援を重視した『特定保健指導』の実施、『健康教室』による生活習慣病予防啓発の実施 国保新規年度40歳、節目の50歳の人に対し特定健診が無料で受けられる無料問診票を特定健診受診券と同封で送付 【舞鶴市】 受診可能な検診が一目でわかる「けんしんパスポート」を発行し、40歳以上に個別通知 広報紙、メール配信、FM放送など多様なメディアを利用し受診勧奨を実施、特定健康診査の未受診者に別途受診勧奨を実施 【綾部市】 特定健診、健康教室等の実施</p>	<p>【舞鶴市】 検診案内の個別通知、広報紙等での受診勧奨のほか、薬局や健康づくり応援企業・団体等を「けんしんアンバサダー」として任命し、口コミによるがん検診の受診勧奨の推進、特定健康診査の未受診者には、AIとソーシャルマーケティング技術を活用した受診勧奨の実施</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
<p>病診連携 (パス)</p>	<p>①糖尿病患者が増加する中、糖尿病専門医が少ない状況にあるが、公的病院において糖尿病関係の専門外来等を実施</p> <p>②糖尿病による要透析患者が増加傾向であることから、人工透析可能病院に移行させるタイミングも重要である。</p>	<p>①②治療方法の標準化や合併症管理の面から、糖尿病専門医による医師研修等を充実させ、病診連携強化によって合併症の予防と治療水準を向上</p> <p>①②病院、診療所(内科医、専門医)間の役割分担の明確化と連携の強化</p> <p>①②医療連携システムについては、クリティカルパス導入も含めて検討</p> <p>①合併症の治療や管理の行える医療機関や専門医、薬局等に関する情報について「京都健康医療よろずネット」を通じて、医療関係者や患者へ提供</p>	<p>【市立福知山市民病院】 糖尿病チームによる啓発を兼ねた定期的な研修会を開催、フットケアチームによるフットケア外来を開設 糖尿病専門外来を週5日継続的に実施 糖尿病透析予防外来も実施し、医師・看護師・管理栄養士が同時に患者指導【舞鶴医療センター】 糖尿病専門医による糖尿病外来の実施 【舞鶴共済病院】 糖尿病療養指導士の確保 【舞鶴赤十字病院】 開業医からのDM(糖尿病)コントロール目的の入院の受け入れを実施 糖尿病看護認定看護師による糖尿病患者のフットケア外来の予約枠の拡大(3枠→12枠へ) 糖尿病専門医(非常勤医)による専門外来の実施(毎週火曜日) 【綾部市立病院】 常勤糖尿病専門医の配置。糖尿病療養指導士及び糖尿病看護認定看護師による糖尿病療養指導及びフットケア外来の実施 糖尿病合併症外来の実施 【京都ルネス病院】 フットケア外来の充実(週1回→週2回)</p> <p>【市立福知山市民病院】 地域医療懇談会(市内開業医対象)で糖尿病内科専門医に係る情報提供の場の設定 【舞鶴共済病院】 透析センターとして、病床(35床)が稼働 【舞鶴赤十字病院】 糖尿病看護認定看護師による透析予防外来の実施(1回/週)継続</p> <p>【綾部市立病院】 腎不全看護外来の開始 【京都ルネス病院】 平成28年9月移転時に21床→23床へ増床 【看護協会】 糖尿病地域連携手帳の活用</p>	<p>【綾部市立病院】 特定行為看護師の育成推進(効果的な活動方法を考察する)</p> <p>【市立福知山市民病院】 糖尿病専門外来の継続 糖尿病透析予防外来の継続</p> <p>【舞鶴赤十字病院】 糖尿病患者のフットケア外来の予約枠の制限(12枠→8枠へ)</p>
<p>在宅医療</p>	<p>③独居老人、老人のみの家庭、認知症のみの家庭では、投薬管理や食事療法などが困難であり、在宅での管理が不十分になりがちである。</p>	<p>③高齢者については、在宅医療介護等に関わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、栄養士等を対象として、研修や情報交換を行い、個々の患者の必要情報を共有し、連携して在宅療養者を支援</p> <p>③糖尿病患者については、①適度な運動、②食事療法、③薬剤治療の大切さについて啓発し、病院等の糖尿病教室等の受講を促すなど療養の仕組みを整備</p> <p>③病院、診療所、保険者、栄養士会等医療職団体の連携により、必要な患者に対して栄養指導、保健指導ができる仕組みを整備</p>	<p>【市立福知山市民病院】 高齢者については必要に応じて在宅医療介護等関係者と個別に情報交換を行い在宅療養者を支援 【舞鶴共済病院】 在宅血液透析、腹膜透析の支援 【舞鶴赤十字病院】 在宅で薬剤の管理ができない患者に対し、ケアマネジャー、調剤薬局薬剤師との連携をはかり、在宅患者訪問薬剤管理指導が実施できるように主治医と調整 【綾部市立病院】 定期的な糖尿病教室の開催 【舞鶴市】 在宅医療介護に携わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー等を対象に、「在宅医療・介護連携ネットワーク会議」を実施、「看取り」をテーマに、訪問看護師による症例報告やグループワークの実施 【綾部市】 在宅医療介護連携推進事業に取り組み、在宅医療介護等に係る専門職を対象に研修や情報交換の実施 【看護協会】 糖尿病看護認定看護師は3名、認定看護師が出前講座の講師として講習会に参画</p> <p>【市立福知山市民病院】 糖尿病外来患者について、外来受診時等に運動や食事療法、糖尿病教室の受講を促すなどの取り組みの実施 【舞鶴赤十字病院】 糖尿病教室の開催(12回/年) 【看護協会】 認定看護師が管内の企業へ出向き講演をし、啓発活動の実施 京都府看護協会では糖尿病重症化予防(フットケア)研修開催、中丹地区からは認定看護師が講師として参画 【京都府】 糖尿病重症化予防戦略会議の開催</p>	<p>【看護協会】 地域の病院・施設などでの講習会を継続</p> <p>【京都ルネス病院】 糖尿病教室の再開(予定)</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
<p>予防啓発</p>	<p>④市民の糖尿病の進行による重大性の認識が不十分で、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療の大切さが十分浸透していないため、健診受診率が低い。また、受診しても自己管理がしっかりとできずと継続的、効果的な治療に結びつかない。</p>	<p>④栄養成分の表示、ヘルシーメニューの提供などを行う「食の健康づくり応援店」の普及・拡大に努め、糖尿病など生活習慣病の予防を推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 月2回、市民向け糖尿病教室を開催 毎年糖尿病週間に合わせてパネル展示等を行い啓発を実施 患者同士の交流も図るべく集団栄養食事指導を年3回実施 【舞鶴赤十字病院】 世界糖尿病予防デーの実施(啓発活動、外来フロアに展示) 【綾部市立病院】 年1回市民公開講座の開催。糖尿病予防デーに関するイベントとして、糖尿病に特化した市民公開講座を開催 【福知山市】 健診受診者の拡大のため、あらゆる機会に広報活動を実施 『健康活動ポイント事業』を活用した健診受診勧奨の実施 『糖尿病予防』に特化した健康教室も健診結果返し同日に実施 国保の糖尿病医療中断者に対して個別受診勧奨通知を実施 個別支援を重視した『特定保健指導』の実施、『健康教室』による生活習慣病予防啓発の実施 国保新規年度40歳、節目の50歳の人に対し特定健診が無料で受けられる無料問診票を特定健診受診券と同封で送付 【綾部市】 健康教室の開催(講話、ヘルシーメニューの提供) 【看護協会】 講演会の企画・実施・参画(綾部・舞鶴) 世界糖尿病デーのブルーライト(綾部市)による啓蒙活動実施</p>	<p>【看護協会】 「知っ得、糖尿病」(綾部市立病院)と「あやべ食育すこやかフェスティバル」(綾部市)との協働企画による活動拡大</p>
	<p>⑤歯周病と糖尿病の関連が認識されていないため、成人歯科健診、歯周病健診の受診が進まない。</p>	<p>④⑤糖尿病予防の重大性と生活習慣病予防・歯科検診受診の普及啓発を実施し、健診受診率を向上。また、医療機関未受診者や糖尿病治療中断者への受診勧奨やハイリスク者への保健指導等を重点的に実施</p>	<p>【舞鶴共済病院】 歯科口腔外科医師による周術期歯科治療 【舞鶴赤十字病院】 糖尿病教室の定期開催、健診・ドック受診時の指導 【綾部市立病院】 認定看護師が企業に出向き、講演会を開催。血糖測定を実施し、未受診層への検診勧奨 【舞鶴市】 糖尿病講演会を開催、医療機関未受診者やハイリスク者には保健師と管理栄養士による保健指導を実施、歯周疾患検診の未受診者に受診勧奨を通知 【舞鶴歯科医師会】 糖尿病を含めた口腔と全身の関係についてポスターを製作、各所での掲示を実施 糖尿病講演会へ協力団体として参加、歯科相談と口腔ケアアドバイスのコーナーを設置し、歯周病と糖尿病の関係についての啓発を実施</p>	<p>【市立福知山市民病院】 歯周病と糖尿病の関連についての啓発</p>
	<p>⑥糖尿病は自覚症状がないことが多く、リスクを早く察知し、発症・重症化を予防するためには、特定健康診査受診率の向上及び必要指導者に対する特定保健指導による対応が重要となる。</p>	<p>⑥健康や健診に無関心な層への身近な薬局等でのHbA1cの自己測定や受診勧奨の実施</p>	<p>【市立福知山市民病院】 特定保健指導の実施 【綾部市】 訪問、郵送等による受診勧奨 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施 【看護協会】 認定看護師が企業に出向き社員向けに血糖測定を実施。(綾部)若年・壮年期無関心層に啓蒙活動を実施 【舞鶴薬剤師会】 【舞鶴市】 期間限定で市内5薬局においてHbA1cの自己測定の機会を設け特定健康診査の未受診者への健診受診勧奨や、医療機関の受診勧奨を実施</p>	<p>【看護協会】 「すこやかウォーキング」(綾部市)との共同による運動イベント企画</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
全体	<p>①高齢化の進展により、認知症の患者が増加している。</p> <p>②各市では認知症カフェの整備や認知症初期集中支援チームの設置など、初期の段階での居場所づくりや、医療・介護サービスにつながる地域での相談体制を強化している。また、認知症高齢者行方不明SOSネットワークも構築されている。</p>	<p>①② 認知症となっても本人の意志が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を推進</p> <p>若年性認知症の事例やニーズを把握し、支援を充実</p>	<p>【市立福知山市民病院】 院内に認知症ケアチームを立ち上げて啓発と対応力向上のための研修会を実施</p> <p>【舞鶴医療センター】 京都府認知症疾患医療センターとして、急増する認知症に対して認知症疾患の保健医療水準の向上のため診断や治療、専門医療相談、地域の保健医療、介護関係者との研修等の実施</p> <p>【舞鶴共済病院】 舞鶴医療センターと連携</p> <p>【舞鶴赤十字病院】 認知症カフェの整備及び定期的な実施 医療福祉関係従事者を対象とした公開講座</p> <p>【綾部市立病院】 入院患者を対象に院内デイケアを週1回開催 認定看護師による看護外来開催</p> <p>【もみじヶ丘病院】 認知症初期集中支援チーム、精神科訪問看護等に積極的に取り組み、必要な医療と、医療の中断をきたさない為の支援を推進</p> <p>【京都協立病院】 学習会の開催</p> <p>【看護協会】 認知症看護認定看護師は「認知症初期集中支援チームのメンバーとして参画(綾部)」 市民講座「認知症サミット2018」開催(綾部)</p> <p>【市立福知山市民病院】 臨床心理士を配置し、家族を含む介護者へ認知症患者への対応方法を助言</p> <p>【京都ルネス病院】 平成30年7月頃から認知症カフェの実施</p> <p>【京都協立病院】 認知症カフェの隔月開催</p> <p>【福知山市】 認知症初期集中支援チームを医療法人福知会もみじヶ丘病院に委託実施、本市の認知症サポート医5人がチーム員に加わり専門的なアドバイスを実施 認知症カフェを5箇所(日常生活圏9箇所中4圏域)に設置</p> <p>【舞鶴市】 認知症カフェは、5か所で運営、認知症初期集中支援チームも設置し、必要なケースには、訪問の実施、若年性認知症については、個別対応</p> <p>【綾部市】 認知症カフェの設置、認知症初期集中支援チームの設置 認知症高齢者行方不明SOSネットワークへの事前登録事業、SOSメール配信事業の実施 認知症地域支援推進員を設置 認知症ケアパス(認知症支援ガイドブック)の改訂版発行予定</p>	<p>【市立福知山市民病院】 認知症ケアチームの活動の拡充</p> <p>【福知山市】 認知症初期集中支援チームについては、チーム員として新たに主任介護支援専門員を加え、医療的措置に加えて生活全般の支援を充実</p> <p>【福知山市】 9箇所の日常生活圏域に最低1箇所の認知症カフェ整備を目標</p> <p>【綾部市】 行方不明SOS訓練の実施</p>
診療体制	<p>③舞鶴医療センターにおける認知症疾患医療センターの設置や、地域包括支援センターの取組が活発になるなど、早期発見・早期治療に向けた取組が進み始めた。</p>	<p>③医療と保健福祉の相互連携を密にし、認知症疾患医療センターの取組を促進するなど、医療と福祉をつなぐネットワークづくりを推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 認知症の早期発見・早期対応を目的として、「ものわすれ外来」の実施 福知山市認知症ケアパス作成に精神科医師の参加</p> <p>【舞鶴市】 認知症疾患医療センターと医師会・地域包括・ケアマネジャー・介護事業所等との定例会「認知症医療連携実務担当者会議」を毎月実施</p> <p>【綾部市立病院】 (毎週金曜日)専門医によるもの忘れ外来(週1回)の実施</p>	
病診連携	<p>④情報提供の不足や突然の入院依頼など、医療と福祉の相互理解や連携はまだ十分ではない。</p> <p>⑥身体合併症を伴う認知症患者に対するケアのあり方等、より具体的な対応について今後検討が必要である。</p>	<p>④⑤認知症サポート医の養成やかかりつけ医との連携を強化</p> <p>⑥身体合併症や行動・心理状況(BPSD)に適切に対応できる体制の構築、一般病院や介護施設等対応力の向上</p>	<p>【舞鶴医療センター】 精神科医療において、認知症エリアの病床機能を確保</p> <p>【舞鶴赤十字病院】 舞鶴医療センター脳神経内科との紹介連携 事例にもとづいた対応方法の検討会の開催</p> <p>【京都ルネス病院】 全病棟に認知症研修修了看護師を配置</p> <p>【福知山市】 認知症初期集中支援チームへのサポート医の参加</p> <p>【綾部市】 認知症地域支援推進検討会議において、サポート医、認知症疾患医療センター、地域包括支援センターなどと情報共有</p> <p>【市立福知山市民病院】 認知症看護認定看護師の養成</p> <p>【舞鶴赤十字病院】 院内研修会の実施</p> <p>【京都協立病院】 看護協会、私病協主催の研修会への参加、全職員参加の認知症サポーター研修会の開催</p> <p>【看護協会】 認定看護師は研修会・講演会に講師として参画</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
<p>予防啓発</p>	<p>⑦認知症を理解し認知症の方や家族を地域で見守る「認知症サポーター」が広がりつつある中、入院加療により「認知症の行動と心理症状」(BPSD)が改善されても、地域における認知症理解は十分ではないため、自宅で受け入れることが困難な場合がある。</p>	<p>⑦府民に対する認知症についての普及啓発、認知症への対応力を向上する研修の実施などによる福祉関係職員の資質向上、地域包括支援センターへの支援を図ることなどにより、認知症になっても暮らし続けていくことができる地域や施設づくりを推進</p>	<p>【舞鶴医療センター】 研修会・セミナー及び地域に向けた公開講座等の教育研修活動を推進 【舞鶴赤十字病院】 京都府北部看護職支援センター研修会へファシリテーターとして参加(7/20-21) 京都府看護協会主催の認知症講演会に認定看護師が講師として参加(8/18) 【綾部市立病院】 認知症認定看護師による出前講座開催 認定看護師は綾部市の認知症初期集中支援チームのメンバーとして活動 綾部市と連携し「認知症サミット」と題した地域連携会議を開催 【綾部市】 認知症サポーター養成講座や認知症市民公開講座の開催 【舞鶴薬剤師会】 認知症の方本人とその家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性などを習得するための薬剤師認知症対応力向上研修会への参加</p>	<p>【舞鶴赤十字病院】 認知症サポーターの育成及び病院スタッフの認知症対応力向上研修への参加</p>
	<p>⑧認知症予防には、普段から生活習慣病の予防に心がけることが重要であり、運動や栄養等の総合的な健康づくりが必要である。</p>	<p>⑧⑨各市を中心とした認知症予防に向けた健康づくり事業、介護予防事業の継続的実施を推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 【福知山市】 福知山踊りて認知症予防チャレンジ事業の実施 【京都協立病院】 認知症予防のとりくみを地域ぐるみでできないか模索中 【舞鶴市】 認知症の正しい理解の普及を図るため、認知症サポーター養成講座の実施 【綾部市】 認知症予防教室を開催</p>	<p>【京都ルネス病院】 タクティール外来の設置</p>
	<p>⑨認知症の正しい理解を促進するため府においても啓発に取り組んでいる。</p>	<p>⑧⑨各市を中心とした認知症予防に向けた健康づくり事業、介護予防事業の継続的実施を推進</p>	<p>【京都協立病院】 健康友の会を中心とした地域散策、歩こう会の企画 【福知山市】 高齢者の介護予防(生活の質の向上)を目的とした貯筋体操を実施 【看護協会】 府・市の開催する健康イベントに参画し、健康相談・介護相談を担当 認知症サポートナース育成研修修了者アドバンス研修・オンデマンド研修・フォローアップ研修企画 【京都府】 オレンジロードつなげ隊による各種イベントでの啓発 府民公開講座の開催</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
全体	①うつ病を発症する労働者が多い中、労働安全衛生法の改正により、事業所におけるメンタルヘルスケアの対策(ストレスチェック等)の実施等が規定された。	①事業所におけるメンタルヘルスケア対策、職場復帰支援の取組の推進 ①復職・復学を支援するため、企業・学校等との連携を推進 ①総合的な就労支援の拠点である北京都ジョブパーク、ハローワークの協力を求め、就労支援を推進	【舞鶴共済病院】 舞鶴医療センターと連携 【もみじヶ丘病院】 精神科デイケアにて、(WRAP(元気回復行動プラン)・SST(ソーシャルスキルトレーニング)・心理教育等)復職支援プログラムの実施 クリニック「まほら」による、ペインクリニックの実施 精神科医師による、精神科領域における行政・福祉施設等における講演会を実施 【各病院】 ストレスチェックの実施 【福知山市】 精神的な不調を訴える人やその家族からの電話・来所による、さまざまな相談に対応 第5期福知山市障害福祉計画(平成30～33年度)に基づき、地域における精神保健福祉に関する知識の普及、こころの健康づくり対策を推進するため、相談支援事業所、保健所、医療機関との連携強化	【舞鶴医療センター】 認知症、身体合併症、アルコール依存症の取り組みの推進 【綾部市】 綾部市内事業所や労働者・家族に対する心身の健康づくりの普及・啓発 労働者を含めた様々な世代を対象とした地域における心の健康づくりの推進
在宅医療	②未治療、医療中断者の治療継続が困難である。高齢化などにより、家族の支援力が低下し、家族も含めた支援が必要である。	②医療と地域の関係機関による連携を促進し、アウトリーチ支援に積極的に取り組み、治療を中断しないための訪問支援を推進	【京都協立病院】 慢性疾患登録をされている患者の中断チェックをおこない手紙の発送、来院できない患者については電話かけや訪問の実施 【綾部市】 地域包括支援センターによる総合相談と適切な支援機関と連携	
診療体制 医療連携	③中丹圏域内におけるアルコール依存症患者は1,600人余りと推定されるが、適切な治療を受けない結果、肝機能障害などの重大な身体疾患を抱える場合もある。 ④産業医、かかりつけ医と専門医の連携を進める必要がある。 ⑤治療から回復過程におけるリハビリテーション等の場が少ない。 ⑥舞鶴医療センターを中心としたもみじヶ丘病院、東舞鶴医誠会病院との精神科救急医療病院群輪番事業による夜間休日における救急対応等を実施 ⑦うつ病や身体合併症等について、精神科以外の他科との連携が必要であり、中丹G-Pネット(かかりつけ医、救急病院と精神科医療の連携)の運用により対応している。 ⑧精神科医療機関と障害福祉機関の連携が進み、精神障害者が地域で生活するための支援が進みつつあるが、長期入院者の退院促進に向けては、住む場所の確保や関係職員の人材確保に課題がある。	③治療が必要なアルコール依存症患者が円滑に適切な治療を受けられるよう、保健所や各市などの相談窓口の連携体制を推進するとともに、社会復帰支援や民間団体の支援を行う。 ④⑤うつ病の対応力向上のためのかかりつけ医の研修を行うとともに、産業医やかかりつけ医と専門医の連携を推進 ⑥「北部精神科救急医療システム連絡調整会議」の開催を通して、医療機関、精神科救急情報センター、消防署、警察署との有機的な連携を推進 ⑦精神科救急や身体合併症等に関する課題を解決するため、関係機関による連携推進会議を実施 ⑧精神障害者の支援を進めるため、精神科医療機関や障害福祉機関のみでなく、住宅関連や、高齢者支援、就労支援などの関係機関による連携を深めるとともに、関係職員の資質向上のための研修や人材確保の推進	【綾部市立病院】 舞鶴医療センターと連携 【舞鶴赤十字病院】 要治療や症状のある患者の専門医療機関への紹介(診療情報提供書・検査データなどの提供) 【舞鶴赤十字病院】 治療が途絶さないように、入院中精神科医の往診依頼や他の病院の精神科受診をすすめ、治療継続、又、退院時には関係医療機関への連絡 【舞鶴医療センター】 京都府北部地域の精神科基幹病院として、急性期一般病棟を併せ持つ総合病院の特色を活かした治療の実施(中丹医療圏での「精神科救急医療体制」の役割) 【市立福知山市民病院】 精神障害者への対応について、保健所と連携強化 【舞鶴赤十字病院】 電話等夜間救急問合せや相談の対応(地域の精神科対応医療機関の紹介や電話相談窓口の紹介) 【京都府】 京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議の開催 【もみじヶ丘病院】 地域医療機関等と連携し、早期の治療介入に積極的に取り組み対応 精神科救急医療輪番事業の当番日増による救急対応 PSWを中心とした、精神障害者家族会との相談会の実施 クリニック「まほら」のデイケアによる、ハローワーク等関係機関との連携 高齢者生活支援室を開設し包括的な支援の推進 重度認知症デイケア「はなもも」の開設、認知症治療病棟の開設 精神科医師による、地域住民、行政機関等への研修会を通じうつ病、認知症等の対応について普及啓発の推進、認知症カフェの開設 【綾部市】 保健所や医療機関との連携、また必要に応じた支援機関との積極的な連携推進 【京都府】 こころの健康セミナーの開催	【綾部市】 救急医療機関等の関係機関と、自殺未遂者等の情報共有

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
予防啓発	<p>⑨うつ病への理解を進めるため、府や市が心の健康講座や心の健康相談を実施している。</p> <p>⑩地域社会でもうつ病に対する関心は高まったが、理解を一層進める必要がある。</p> <p>⑪府や市において、精神的な不調を訴える人やその家族への電話相談、来所相談を実施</p>	<p>⑨⑩⑪地域住民や民生委員、一般事業所等を対象とし、研修等を通じてうつ病への理解と対応についての普及啓発を推進</p>	<p>【綾部市】 自殺防止対策の講演会、イベント相談会、図書啓発イベント、パンフレット配布などの啓発</p> <p>【綾部市】 精神障害者相談員と共にさらなる啓発活動と利用促進</p> <p>【綾部市】 保健所や医療機関との連携、また必要に応じた支援機関との積極的な連携推進</p> <p>【京都府】 精神科嘱託医による精神保健福祉相談の開催 精神保健福祉家族教室の開催</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
診療体制	<p>①小児救急医療対応状況として、舞鶴3病院(共済、日赤、医療センター)と市立福知山市民病院、綾部市立病院の輪番制で、オンコール及び一部当直による受け入れ体制を整備</p> <p>②小児科医が不足する中、専門外の医師との連携や、病院、診療所間との連携を図りながら、小児医療体制の維持に努めている。</p> <p>③感染症流行期には、病院勤務医を始め小児科医が厳しい状態となる。</p> <p>④小児医療を担う小児科医の安定的、継続的な確保が課題</p>	<p>①② 地域に必要な入院診療を含む小児医療体制の確保に向け、小児科医と小児科医以外の医師間の協力、連携し役割分担することで、地域の実情に応じた医療機関相互の協力体制を強化</p> <p>③④小児科医の安定的、継続的確保</p>	<p>【市立福知山市民病院】 NICU(新生児集中治療室)開設に向けた医師の増員及び看護師の研修強化 【舞鶴医療センター】 周産期医療サブセンターとして、NICU(HCU)病床を整備していることで近隣病院間と連携し、当該地域の小児医療・周産期医療を提供 中丹医療圏での「小児救急医療体制」の役割を担当 【舞鶴赤十字病院】 救急輪番制については、非常勤小児医師で対応 【綾部市立病院】 NICU(新生児集中治療室)配置。(施設基準届け出なし) 【舞鶴医療センター】 平成28年度より京都府こども療育センターが当院敷地横にて開設、発達障害児の診療やリハビリ等において連携を強化 【綾部市立病院】 特殊な治療やNICU対応が必要な症例は舞鶴医療センターと連携</p> <p>【市立福知山市民病院】 小児の発達、代謝・内分泌、循環器、神経に関する専門外来を実施 【舞鶴共済病院】 小児科医2名体制を確保、病診連携を更に強化 【舞鶴赤十字病院】 平成29年8月～小児科常勤医を確保 【京都ルネス病院】 平成30年12月～病児保育所開設 【綾部市立病院】 小児科常勤医師3名配置。小児入院医療管理料4の取得 【京都協立病院】 ワクチンスケジュールを立て計画的な接種を推進</p>	<p>【舞鶴赤十字病院】 医師確保の取り組みを更に強化</p> <p>【綾部市立病院】 小児科常勤医師3名のうち1名が産休取得のため救急体制などを見直し</p>
予防啓発	<p>⑤小児救急電話相談事業(#8000)の相談件数は平成24年の482件から比べると平成28年は1,184件と順調に増加しているところである。</p> <p>⑥各市において、子育て情報雑誌の配布や#8000のPR、かかりつけ医を持つこと等の啓発を行っている。</p> <p>⑦外来診療を行っていない休日や夜間に、緊急性のない軽症患者が、自己の都合による理由で救急外来を受診するなどの行動は、依然続いているため、小児医療機関への適切な受診を促進し、医療機関の負担軽減を図るためにも、引き続き住民への啓発が必要。</p>	<p>⑤小児救急電話相談事業(#8000)の利用促進に向け、住民に対し、引き続きPRを行う。</p> <p>⑥適正な医療受診が出来るよう、保護者等に対して、引き続き啓発を行う。</p> <p>⑦市中薬局において、病院等への受診前の市販薬の適切な情報提供を担うとともに、必要時に速やかに受診を勧めることにより、圏域内の適正受診を促進</p>	<p>【舞鶴赤十字病院】 休日や夜間に受診希望があった場合、時間帯によっては近隣医療機関を案内 受診が不可な時間帯の問合せには、小児科電話相談事業(#8000)を案内 窓口案内カード設置 【綾部市立病院】 年1回市民公開講座の開催 【京都協立病院】 3か月に1回の医療懇談会の実施 子育て新聞の発行</p> <p>【福知山市】 母子健康手帳発行時に子育て情報誌配布 #で始まる電話相談を啓発 【舞鶴市】 広報紙やパンフレット、ホームページ等で#8000について紹介、利用促進に向けPR実施、市内施設や病院に啓発用カード配布 3ヶ月検診時や保育所・幼稚園への入所(園)時に、小児医療のパンフレットを保護者に配布 【綾部市】 小児救急電話相談事業(#8000)の啓発を実施 乳幼児全戸訪問事業でカードを配布してPR 【舞鶴薬剤師会】 市販薬を購入の際に適切に情報提供を行い、必要がある場合には受診勧奨</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
病院体制	①中丹管内における人口10万人対の産科・産婦人科医師数は、平成26年で7.6人と全国平均の8.7人を下回っている。	①周産期医療を担う産科医の安定的、継続的な確保	【市立福知山市民病院】 産婦人科医を増員、医療機器を充実させ、早産児の対応など分娩機能を増強 【舞鶴共済病院】 産婦人科医(常勤3名)を確保	
	②周産期サブセンターでは、産科の体制が十分でないため、2次医療機関と連携し、ハイリスク児に対応している。		【舞鶴市】 地域全体の医師不足に対し、京都府立医科大学とも協議しその確保に努めるとともに、地域の医療機関の連携強化について検討	
	③周産期サブセンターの機能充実を図るためには、当面、2次医療機関等との連携を強化するとともに、産科医の確保が必要である。	②③④ 周産期サブセンターとしての機能を充実させるため、舞鶴医療センターの産科医の確保	【舞鶴医療センター】 周産期医療サブセンターとして、近隣病院間と連携し、当該地域の周産期医療を提供 【舞鶴共済病院】 ハイリスク児の母胎児搬送で舞鶴医療センターと協力を継続 【綾部市立病院】 京都府地域周産期母子医療センター認定 ハイリスク症例は市立福知山市民病院、北部医療センターと連携	
	④母体搬送できる病院がなく、ハイリスクの場合等への対応が課題となっている。			
	⑤福知山市内での周産期医療をさらに充実させるためには、小児科医の確保が必要である。	⑤市立福知山市民病院のNICU設置のための小児科医師の確保及び従事できる看護師の育成	【市立福知山市民病院】 NICU開設に向けて医師の増員及び看護師の研修強化 【看護協会】 京都府看護協会では研修会の開催「周産期のメンタルヘルスケアと看護」と受講推奨	
連携体制	⑥圏域内各市での病診連携は図れている。	⑥・各医療機関が有する医療機能に応じた機能の分担や病診連携の推進 ・各市に設置された子育て世代包括支援センターや母子保健担当課と周産期医療センターとの連携強化により、妊娠から出産、子育てへの一連の支援が円滑に推進できるよう実施	【市立福知山市民病院】 地域周産期母子医療センターとして、一般的な母体搬送に加え、特定妊婦などの転院と他の医療機関との連携 子ども政策室の家庭支援係(子育て世代地域包括支援センター)や母子保健係と、妊娠、出産、子育てにわたり、患者とその家庭の状況を把握し情報共有 【福知山市】 子育て世代包括支援センター職員と周産期医療センターによる、要支援ケースにおける産前産後の連携強化 【舞鶴市】 市内の産科医療機関と母子保健、子育て支援担当課で年1～2回連携会議を開催し、周産期に関わる情報提供や意見交換を実施 定期的にカンファレンスを実施したり、個別ケースについてはその都度連携	【舞鶴市】 出産前後の連携をさらに強化するため、産婦健康診査を実施し、支援を要する産婦について速やかに連携し、支援につながる体制を整備

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
共通	<p>①平成22年以降中丹管内においても搬送件数が増加している。</p> <p>②管内7病院が救急告示病院(二次)となっているが、各病院において対応が難しい疾病があり、医療機関の連携、協力体制が重要である。</p> <p>③三次救急については、市立福知山市民病院が地域救命救急センターとなっている。</p> <p>④京都府北部、兵庫県北部、鳥取県東部においてドクターヘリの運航については、平成24年度以降、関西広域連合により運航している。</p> <p>⑤当直医の負担が大きく、休日だけでなく夜間も含めた対応が必要であり、特に内科医の調整が必要である。</p> <p>⑥専門医の日直や当直を確保できないため、医師の確保や病診連携、病病連携が必要である。</p>	<p>①～③ 初期、二次、三次の各段階における救急医療体制が適切に機能する体制を整備</p> <p>④ ドクターヘリの更なる活用を図り早期に治療が開始できる体制の整備、充実を図る。</p> <p>⑤～⑦ ・病院間での機能調整、連携を推進 ・専門的治療に備え、病院間で連携できる体制を整備</p>	<p>【舞鶴医療センター】【舞鶴共済病院】【舞鶴赤十字病院】 公的3病院による輪番制で二次救急</p> <p>【舞鶴医療センター】 「小児救急医療体制」「二次救急医療体制」「精神科救急医療体制」において中丹医療圏で重要な役割を担っており、高度急性期・急性期機能を維持 【京都ルネス病院】 平成29年12月～HCU(高度治療室)8床開設</p> <p>【京都ルネス病院】 市立福知山市民病院で受け入れられない救急患者の受け入れ 救急救命士の実習受け入れ 【綾部市立病院】 綾部市内唯一の救急告示病院として救急患者の受け入れ 【京都協立病院】 同一法人内のかかりつけ患者の救急受け入れ 【市立福知山市民病院】 救急専門医、救急看護認定看護師を配置</p> <p>【綾部市立病院】 ドクターヘリの受け入れ</p> <p>【市立福知山市民病院】 集中ケア認定看護師を配置 【舞鶴赤十字病院】 府立医大から平日及び救急輪番日に内科医師の支援あり 【京都ルネス病院】 平成30年4月～麻酔科(内科も可)常勤医師採用</p>	<p>【舞鶴赤十字病院】 医師確保について努力</p>
福知山市	<p>⑦市立福知山市民病院が平成26年に救命救急棟を開設</p>		<p>【市立福知山市民病院】 福知山市消防と連携して週1回ワークステーションを運用</p>	
舞鶴市	<p>⑧舞鶴市においては、平成29年6月よりすべての日曜日について、休日救急診療を開設</p>	<p>⑧ 休日急患診療所を継続</p>	<p>【舞鶴医療センター】 平成27年度に開設した舞鶴市休日急病診療所のバックアップ機能を維持し、救急医療を連携 【舞鶴市】 舞鶴市休日急病診療所を毎週日曜日に開設 【舞鶴薬剤師会】 休日急病診療所に会員薬剤師が出務し、運営を支援</p>	
綾部市	<p>⑨平成29年より綾部市上林地区については上林分遣所に救急車を配備、舞鶴市内へ救急搬送可能</p>	<p>⑨ メディカルコントロール協議会等を活用して、府、市、消防機関、医療機関等の相互の連携による救急搬送体制の強化</p>	<p>【綾部市立病院】 消防署と連携し現場映像伝送システムの導入、災害現場のリアルタイム映像の受信</p>	
啓発推進	<p>⑩救急フェスティバルで講演するなど、救急車の適正化利用について市民に啓発を行っており、引き続き市民に対して救急医療の受け方を普及啓発する必要がある。</p>	<p>⑩ ・救急時の適正利用や日頃からのかかりつけ医を持つことなど適切な医療のかかり方について、一層の啓発を推進 ・軽度な症状については、休日急患診療所を利用するよう啓発 ・救急のかかり方等の普及啓発を行い、一次、二次救急医療の役割を周知</p>	<p>【舞鶴市】 広報紙やホームページで、内科一次救急時の休日急病診療所の利用及び二次救急当番病院について周知するとともに、上手な医療のかかり方について啓発</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
連携体制	<p>①市立福知山市民病院が災害拠点病院に指定されている。</p> <p>②舞鶴赤十字病院は救護班を3班設置している。</p> <p>③DMAT(災害派遣医療チーム)は市立福知山市民病院に2チームとなっており、平成28年4月の熊本地震には、被災地に置いて救護活動等に従事した。</p>	<p>①～③</p> <p>・各市において作成している地域防災計画により、各機関の連携を確認するとともに、災害時医療拠点病院(市立福知山市民病院)を中心に圏域内の病院等との連携体制を構築</p> <p>・京都府が設置している「災害拠点病院連絡協議会」とも連携し、災害対応を推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 DMATチームを養成</p>	
	<p>④原子力災害医療協力機関として、中丹管内の7病院、5団体が指定されている。</p>		<p>【綾部市立病院】 災害支援ナース・災害ボランティア基礎研修受講推奨・登録者2名 消防署と連携し現場映像伝送システムの導入 災害現場のリアルタイム映像の受信</p>	
	<p>⑤原子力総合防災訓練にて原子力災害医療訓練、安定ヨウ素剤訓練を実施・参加</p>		<p>【舞鶴医療センター】 防災マニュアルの検討 防災訓練の実施及び災害対応研修を開催</p> <p>【舞鶴共済病院】 原子力防災設備の計画 総合防災訓練・原子力総合防災訓練への参加 病院内訓練の実施</p>	
	<p>⑥原子力発電所事故災害に対応する体制の整備が急務であり、災害時の入院患者や要配慮者の対応、原発事故に伴う患者搬送に備えたマニュアルの整備等が必要である。</p>	<p>④～⑥</p> <p>・UPZ圏内の各市が迅速・円滑に安定ヨウ素剤の配布が出来るよう体制強化</p> <p>・原子力災害拠点病院等の原子力災害医療体制の充実及び関係機関のネットワークの強化</p> <p>・原子力防災研修などに参加し、災害時の医療等を充実</p>	<p>【舞鶴赤十字病院】 原子力防災訓練、研修会への参加</p> <p>【綾部市立病院】 原子力防災訓練の参加 総合防災訓練への参加。院内大規模災害訓練及び受け入れ訓練の開催</p> <p>【京都協立病院】 安定ヨウ素剤自主配布会への協力</p> <p>【舞鶴市】 PAZ及びPAZに準じた避難を行う地域に安定ヨウ素剤を事前配布及び避難時集結場所や社会福祉施設に分散備蓄し、迅速・円滑な配布ができるよう体制を強化 平成30年度は、医療機関への分散備蓄を実施</p> <p>【綾部市】 平成30年京都府総合防災訓練において、安定ヨウ素剤緊急配布訓練を実施</p> <p>【舞鶴薬剤師会】 平成29年10月に杉山・松尾・成生・大山・田井・野原において安定ヨウ素剤の住民配布事業が行われた際には舞鶴薬剤師会より13名の薬剤師が参加し同事業に協力</p>	
	<p>⑦各市と医師会とは、災害時における医療救護活動における協定が締結されてきているが、具体的な運用については調整中である。</p>	<p>⑦</p> <p>各市は医師会等関係機関と災害時における医療救護活動における協定に基づく連携を強化</p>	<p>【舞鶴市】 舞鶴医師会と医療救護活動における協定による連携</p>	<p>【舞鶴市】 班編成に加え、医薬品や医療資機材、それらの搬送方法、また避難所での活動体制等について医師会とともに検討</p>
	<p>⑧災害時の要配慮者の名簿の活用やマニュアル化が急がれる。</p>		<p>【市立福知山市民病院】 保健所と連携して要配慮者を確認し、災害時の受入体制を整備</p> <p>【京都ルネス病院】 BCPマニュアル作成中</p>	<p>【京都ルネス病院】 BCPに基づく院内研修の実施検討</p>
	<p>⑨大規模災害時における避難・受入等の調整を行うため、災害時要配慮者避難支援センターが設立されたが、患者搬送に備えたマニュアルや受入病院等との具体的な調整等が必要</p>	<p>⑧⑨</p> <p>・災害時要配慮者名簿の定期的な点検を行い、活用方法の検討や地域住民の協力体制を構築</p> <p>・災害医療的ケア児、者の災害時個別支援の体制整備(医療機関の支援体制)</p>	<p>【福知山市】 災害時要配慮者登録について、自治会長に加え、民生児童委員にも登録推進の協力依頼を拡大 個別避難支援計画の作成推進について、自治会長会で周知を行うとともに、民生児童委員連盟理事会で協議を行うなど啓発等実施</p> <p>【舞鶴市】 避難行動要支援者名簿の更新作業 舞鶴医師会の協力の下、災害時特に支援が必要と思慮される医療的ケア児者への個別支援計画策定に向け働きかけ</p>	<p>【福知山市】 平成31年度に災害時要配慮者登録申請書の様式を改正する。改正後の様式は、同時に個別避難支援計画が策定できるものとし、様式変更の周知に併せて、更に登録を呼びかけていく。</p> <p>【舞鶴市】 ・避難行動要支援者名簿の更新作業 ・新たな医療的ケア児者への対応 ・介護事業者など災害時要配慮者の支援者への個別支援計画の意識啓発</p>
	<p>⑩災害医療においては、関係機関・団体の連携が重要であり、地域事業に応じた対応が出来るよう日常からの連携が必要である。</p>	<p>⑩</p> <p>・広域災害・救急医療情報システム(EMIS)等による情報共有等、災害医療体制等に係る訓練の実施</p> <p>・中丹災害医療連絡会を設置し、災害医療体制の情報共有を図るとともに、迅速かつ的確な災害医療体制の確保に取り組む。</p>	<p>【看護協会】 災害支援ナース基礎研修、災害支援ナース・災害救護ボランティア登録者向けガイダンス、フォローアップ研修開催 京都府総合防災訓練に参画し、管内の災害支援ナースが訓練に参加 地区研修会で「災害看護」をテーマにし、救急看護認定看護師、DMAT経験者より講義受講 災害支援ナース派遣調整合同訓練実施</p> <p>【京都府・市立福知山市民病院】 中丹災害医療連絡会を設置、中丹管内の17病院、各地区医師会、各市、各市消防本部参加によるEMIS入力係る訓練及び研修会を開催</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
地区 病診連携	<p>①中丹地区では、無医地区3地区、無歯科医地区5地区、へき地診療所は5箇所となっている。</p> <p>②中丹地域においては、無医地区以外にも医療等地域資源に乏しい集落が点在している。</p>	<p>①～②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療拠点病院(4病院)を中心として各病院からの協力により、へき地診療所(5診療所)への支援体制を継続 ・病院、診療所による訪問診療、訪問看護の支援等、地域の状況に応じた体制の推進 ・ICTを活用した診療支援 	<p>【市立福知山市民病院】 雲原診療所へ週2回医師を継続して派遣</p> <p>【舞鶴市民病院】 へき地診療所支援(医師等の派遣)</p> <p>【舞鶴医療センター】 綾部市東部、丹後地区、福井県嶺南地区などの無医地区からの患者に対する診療対応</p> <p>【綾部市立病院】 綾部市内のへき地診療所を支援(医師派遣)</p>	<p>【舞鶴市民病院】 診療所を拠点とした医療供給体制の構築</p>
対策	<p>③各市において、へき地医療拠点病院(4病院)・各病院の協力により、へき地診療所へ医師派遣を実施しているものの、医師不足が課題となっている。</p> <p>④各市において、奨学金制度を設置するなど医師確保の対策を講じている。</p>	<p>③④ 医師確保のための有効な対策を検討</p>	<p>【市立福知山市民病院】 市立福知山市民病院医師養成確保奨学金制度 医師研修費補助制度</p> <p>【舞鶴市】 奨学金制度により地域医療従事医師の養成・確保を支援</p>	

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
<p>人材確保・育成</p>	<p>①全国平均及び府平均と比べ、医師数等が不足している。看護職員数については平均を上回っているが、50歳以上の看護職員の割合が高い。</p>	<p>①② ・京都府地域医療支援センターの取組の推進 ・医師確保対策の推進(奨学金、地域医療従事医師に対する 研修・研究支援等)</p>	<p>【舞鶴医療センター】 地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築として「地域医療支援病院」としての役割を継続して維持し、高齢者在宅復帰へのプロセスとなる回復期病棟(包括ケア病棟)の機能を維持 【舞鶴共済病院】 地域包括ケア病棟(35床)の運用 【看護協会】 セカンドキャリアの推進・支援 研修会の案内や多様な働き方に柔軟に対応する体制作り 看護力再開発講習会開催(採血技術演習) e-ラーニングを活用した訪問看護ステーション研修開催 特定行為研修受講支援(管内2名修了) 研修開催「訪問看護に活かすフィジカルアセスメント」</p>	
	<p>②中丹圏域は府内で1番面積が広く、また医療資源に地域間格差がある。</p>	<p>・京都府北部看護職支援センター、看護職キャリアパス支援センターの取組の推進 ・訪問看護師人材確保事業の推進を図るとともに専門看護師・認定看護師及び特定行為研修終了等のスキルアップを支援</p>		
	<p>③今後、高齢者人口の増加に伴い、認知症高齢者や医療的ケアが必要な高齢者の増加が見込まれる中、施設サービスの確保や在宅サービスの充実が必要であるが、介護人材不足が深刻化している。</p>	<p>③④ ・京都府北部福祉人材養成システムを推進し、福祉人材の確保・定着を図る。 ・在宅医療等の場で活躍できるよう、特定行為研修等によるスキルアップ支援 ・介護福祉士等奨学金資金貸付事業や各市の補助事業を活用し人材確保を図る。</p>	<p>【舞鶴市】 舞鶴市介護福祉士育成修学資金、実務者研修助成金、初任者研修助成金による支援 【綾部市】 奨学金制度により地域医療従事医師の養成・確保を支援 【府老協中丹西ブロック】 福知山民間社会福祉連絡協議会に参加し、人材養成センターを運営 福知山市民病院大江分院の協力により喀痰吸引研修、医療ケア研修の実施 人材養成センターによる介護実務研修等に対する補助を活用</p>	<p>【京都ルネス病院】 H31.4～呼吸器外科医師1名採用 H31.7～総合内科医師1名採用 【福知山市】 平成31年度に夜久野地域に認知症グループホームの整備予定</p>
	<p>④介護に必要な人材の確保、定着が課題</p>		<p>【綾部市立病院】 京都府立医科大学の教育施設として学生の教育推進 訪問看護研修の受入実施 【京都協立病院】 職員満足度の向上、人が集まる病院づくり 奨学金制度、高校生一日看護体験の取組、病院、訪問看護ステーションでの実習受け入れ 【綾部市】 介護福祉士養成支援事業を実施 UIターン」介護人材確保事業を実施</p>	<p>【綾部市立病院】 京都府立医科大学の教育施設として学生の教育推進。クリニカルクラークシップ(CC I、CC II)の受け入れ</p>
<p>連携推進</p>	<p>⑤医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・福祉サービスが一体的に提供できる体制を整備する。</p>		<p>【市立福知山市民病院】 在宅療養あんしん病院登録システムへの登録推奨 【舞鶴共済病院】 平成31年1月よりレスパイト入院の受入(5床)を開始</p>	
	<p>⑥病院、かかりつけ医、歯科医師、薬剤師、リハビリテーション専門職、介護支援専門員、訪問看護、訪問サービス、通所サービス等の医療・介護・福祉の多職種連携強化が不可欠</p>	<p>⑤～⑦ ・在宅医療の円滑の推進のため、病院、診療所(歯科を含む)、薬局、リハビリ、訪問看護、介護サービス事業所、救急など関係機関の一層の連携を強化し、多職種による医療と介護の連携体制を構築 ・「在宅療養あんしん病院登録システム」により、入退院時等における多職種連携を推進するとともに、患者や家族の在宅療養に対する不安軽減を図る。 ・在宅医療を複数の医師又は多職種で進めるよう在宅チーム医療を推進 ・「京あんしんネット」等ICTを活用したネットワークを構築 ・市が地域の実情に応じた地域包括ケアを実現するための支援及び市圏域をまたがる取組を推進 ・北部リハビリテーション支援拠点を整備し、リハビリ環境を充実強化 ・高齢者が、住み慣れた地域や施設、病院など、望む場所での看取りを行うことが出来る環境を整備するとともに、死に向き合える看取りの文化を醸成するため、府民への普及啓発を推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 介護サービス等の利用者の退院面談について各サービス機関に参加の呼びかけ 当院の訪問診療ケースについて、在宅チームで京あんしんネットを順次導入、多職種での情報共有に活用 【福知山市】 平成29年度に「ふくちやま医療・介護・福祉総合ビジョン」を策定され、平成30年度に京あんしんネットによるモデル事業を実施(医師4名参加)、在宅医療・介護等の多職種連携を推進 【舞鶴市】 高齢者が人生の最後まで自分らしく過ごすための取組として、「おい支度講演会」を実施 地域住民へのさらなる普及を図るため、「おい支度マスター養成講座」を実施、講座を受けた市民が独自に勉強会等を企画・実施 【綾部市】 医師・歯科医師・薬剤師会・行政が協力し、多職種を対象とした学習会を企画・運営 在宅療養や終末期医療や意思決定について、市民向けの在宅療養学習会を開催 【看護協会】 退院支援看護師養成研修・退院支援看護師アドバンス研修開催受講支援 【舞鶴薬剤師会】 平成30年度薬局ビジョン事業として、居宅等での服薬管理が困難な患者に対し多職種からの依頼、紹介に基づく薬剤師の在宅事前訪問を行い薬剤師の在宅業務の有用性を検討する在宅事前訪問事業を舞鶴地域でも実施 【舞鶴歯科医師会】 舞鶴歯科医師会口腔サポートセンターの運営 京都府歯科衛生士会舞鶴支部との連携 京都歯科サービスセンター北部診療所と連携 その他各機関(舞鶴共済病院口腔外科、京都歯科サービスセンター北部診療所)との連携</p>	<p>【福知山市】 平成31年度以降、モデル事業の成果や課題を踏まえて、より多くの患者に京あんしんネットの恩恵がいざわたるよう普及を図っていく。</p>

項目	現状と課題	対策の方向	貴機関での取組状況(H30年度)	貴機関での取組計画(H31年度～)
連携推進	<p>⑦在宅歯科医療の充実や在宅等での薬剤管理の推進が必要</p> <p>⑧在宅診療を支えるため、かかりつけ医等をチームでささえられる体制づくりが必要</p>	<p>⑧「在宅療養あんしん病院登録システム」により、入退院時等における多職種連携を推進するとともに、患者や家族の在宅療養に対する不安軽減を図る。</p>	<p>【市立福知山市民病院】 中丹西地域リハビリテーション支援センターとして、他機関のリハビリ職員とともに、在宅や施設、病院・診療所等での指導や研修会を開催</p> <p>【綾部市立病院】 綾部市と連携し「認知症サミット」と題した地域連携会議を開催 【綾部市立病院】 在宅療養あんしん病院登録システム参加施設</p>	
病床役割強化 連携体制	<p>⑨急性期患者に対する専門的医療の提供のため、病院相互の役割機能による連携を一層推進</p> <p>⑩今後、回復期の需要の増加が見込まれる。</p>	<p>⑨ ・病病連携、病診連携を推進 ・病院の地域医療支援機能の推進</p> <p>⑩ 今後回復期の需要の増加が見込まれるため、急性期から回復期への転換を推進</p>	<p>【市立福知山市民病院】 地域連携システム(ID-Link)を構築し、当院とかかりつけ医をインターネット回線で結び、当院の情報を公開することにより、切れ目のない安全で質の高い医療サービスを提供</p>	

その他意見・質問

貴機関の意見・回答

貴機関にて特に重点的に取り組まれている事項を記入して下さい。

【市立福知山市民病院】
◆大江分院の運用について
平成27年4月より、国保新大江病院を市立福知山市民病院の分院とした。
地域に根ざし、地域住民に安心を与える医療施設にすると共に、採算性のとれる病床機能となるよう検討し運用している。また、若い医療者の教育・研修の場としての機能を充実させていく。
医師の配置を充実させ、緊急時の連絡体制及び24時間往診できる体制を構築し在宅療養支援病院の届け出を行ったところである。

◆緩和ケア病棟開設に向けた取り組み
当院は地域がん診療連携拠点病院として、手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア、がん登録、相談などがん治療に対しさまざまな手段で取り組んでいる。
緩和ケアについては院内に医師、看護師、薬剤師などの多職種でチームを作り回診や症例検討を行っており、医師の1名を緩和ケアセンター長に任命した。
今後緩和ケア治療に対する要望は益々高まることが考えられ、当院に緩和ケア病棟を開設できるよう検討を開始した。

【舞鶴医療センター】
中丹医療圏における当院の役割として、京都府保健医療計画の5疾病に係る対策を掲げ「京都府がん診療連携病院」「脳卒中医療体制(急性期)」「認知症疾患医療センター」「精神科基幹病院」「周産期医療サブセンター」「地域医療支援病院」の機能の継続充実を目指す。

【舞鶴共済病院】
福知山市民病院(地域がん診療連携拠点病院)、舞鶴医療センター(がん診療連携病院)、綾部市立病院(がん診療推進病院)、舞鶴赤十字病院と連携し、中丹医療圏のがんの予防、がんの早期発見・治療、緩和ケアを推進する。また、内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」を導入し、前立腺悪性腫瘍及び膀胱悪性腫瘍に対し低侵襲な手術を実施できる施設としてがん診療推進病院の申請を行う。

【舞鶴赤十字病院】
医師の確保

【京都ルネス病院】
旧病院跡地の利用を継続的に検討

【舞鶴市】
・町内会や老人クラブ等などの地域の小団体に運動指導員を派遣し、運動を行う住民主体の運動の場「サロンdeすれつち」を実施。平成30年11月末時点で、112団体、実人数1,112人が参加されている。身体機能の維持向上だけでなく、地域コミュニティーの強化につながっている。
・認知症の発症～終末期までの支援体制をまとめた認知症ケアパスを作成、配布中。初期認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム、行方不明時のSOSネットワーク、家族支援など、切れ目のない支援体制を構築している。
・在宅医療・介護連携推進のため、医師・歯科医師・薬剤師・ケアマネジャー等を対象に、在宅療養に係る研修・情報交換等を行う「在宅医療・介護ネットワーク会議」を実施している。今年度からは、自分らしい人生の終末期を迎えるための「老い支度」について市民向け講演会や伝道者の養成を開始した。

- 【看護協会】
- 働き続けられる職場環境づくりと定着・確保対策の推進→ナースセンター事業、届け出制度による潜在看護師の再就職推進、WLB事業
 - 専門職としての資質向上北部看護職支援センターでのインターネット研修を継続し、北部地域の看護職の受講する
 - 地域包括ケアの推進→小児在宅医療療養支援、看取り人材養成、認知症、高齢者対応研修
 - 医療・看護における安全対策の推進強化→医療安全管理者講習会、医療安全シンポジウム、医療安全管理者の地域ネットワーク作り
 - 地域保健活動(健康づくり・疾病予防・虐待予防・子育て支援活動)の積極的推保健師ミーティングの開催、禁煙授業
 - 災害時看護支援体制の充実→災害支援・受援体制整備
 - 看護制度の改革と推進→准看護師の学習支援

【舞鶴薬剤師会】
京都府、舞鶴市、舞鶴医師会、舞鶴歯科医師会と連携して行う事業に重点的に取り組んでいる。平成30年度の事業としては、舞鶴市、舞鶴医師会と連携した薬局におけるHbA1c測定事業、京都府中丹東保健所・舞鶴市・舞鶴医師会主催の糖尿病講演会への参加・協力(お薬相談コーナーへの協力)、三師会・舞鶴市事業への参加(歯周病予防の啓発、周知への協力)などを行った。また、平成30年度患者のための薬局ビジョン事業として舞鶴地域では在宅事前訪問事業を行った。

中丹地域での広域的な連携、調整や取り組みが必要なもので、中丹地域保健医療協議会において検討課題、重点テーマとして考えられる事項がありましたら記入して下さい。

【舞鶴赤十字病院】
舞鶴医療センター、舞鶴共済病院には呼吸器内科の専門外来は存在しているが、常勤医でないため入院治療の体制が十分ではない。
綾部市内・福知山市内の病院の内科系(内科・消化器内科)医師には増員みられるが、舞鶴市内医療機関の内科系(内科・消化器内科)の医師の増員がなく、中丹地域のバランスが悪い。
独居で家族のサポートがない患者は在宅での継続が難しく、又中丹地域での療養型病床数が十分ではないため、他府県の療養型施設への入院(入所)を余儀なくされている。

【京都ルネス病院】
地域規模に対し、療養型病床が不足している。

中丹地域保健医療計画(地区計画)、中丹地域保健医療協議会への意見等がありましたら記入して下さい。

【舞鶴赤十字病院】
形骸化した会議であるため、もっと踏み込んだ議論が必要
【舞鶴市】
本年度医療的ケア部会において、要配慮者避難訓練を実施されたが、今後、京都府総合防災訓練や各市防災訓練など、大規模災害を想定した他機関との連携を図る機会においても同訓練を実施されてはどうか。